

一事を必ずなさんと思わば、他の事破るるをいたむべからず、人の嘲りも恥ずべからず

「一事を必ずなさんと思わば、他の事破るるをいたむべからず、
人の嘲りも恥ずべからず」

吉田兼好『徒然草』より

——ひとつのことに集中すれば、必ずできる——

ある事を必ず成し遂げようと心に決めたならば、その他のことができなくても心を痛めてはならない。

人に馬鹿にされても、恥じてはならない。

ひとつのことを達成しようと思えば、他のことが犠牲になっても仕方がない。

自分の持っている力の総てを注ぎ込んでこそ物事が達成できる。

また、そんなときに、人に何と言われても、気にする必要はない。

人の言葉に左右されては、達成もおぼつかない。